



原因不明の心筋症が疑われる患者を専門医療機関に紹介する体制構築のための取り組み

ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成

外部審査プロセス

I. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療現場において生じているナレッジギャップやプラクティス・ギャップ(医学的・科学的知識はあるけれど、実際の診療や看護などの実践・行動に移せていない、またはその実践・行動が普及していない)や、“クオリティ・ギャップ”(医学的・科学的知識はあり、実際の診療や看護など、実践・行動はしているけれど、良い結果・成果が得られない)を埋めるためのプロジェクト、すなわち、医療従事者の行動を変革するプロジェクトに対し、助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

II. 応募資格

| | |
|--------|---|
| 対象国 | 日本 |
| 申請団体要件 | <p>以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関 ○ 医療系の学会・研究会等 ○ 医療系の財団法人・NPO 法人等（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など） ○ 医師会・薬剤師会・歯科医師会 ○ その他医学教育を事業としている団体（医学教育情報を提供している出版会社など） <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>単位供与を行うプログラムでは、申請団体は当該単位の認定された団体であることとします。</p> <p>応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。</p> |

III. 公募詳細

| | |
|--------|---|
| 公募開始日 | 2022年1月21日 |
| 公募対象疾患 | 心筋症 |
| 本公募の目的 | <p>原因不明の心筋症が疑われる患者は、原因精査、確定診断および適切な治療を受けるために、時として専門施設への紹介が必要となります。</p> <p>本公募では、原因不明の心筋症が疑われる患者の診断および治療に対して、専門施設への適切な紹介体制を構築するためのプロジェクトをサポートします。</p> <p>[留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、原因不明の心筋症が疑われる患者の診断および治療に関する、地域の基幹病院を含む定期的な症例検討会や勉強会の立ち上げなどを含みます。（ただし、こちらの限りではありません。） ・助成金は、「プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるものの購入」や「プロジェクトメンバーの人件費」等には使用できません。（詳細は Appendix を参照のこと） |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究等の研究を含むプロジェクトは助成対象外です。研究への支援につきましては、弊社ウェブサイト「研究者主導研究への助成」をご確認ください。</p> <p>また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。</p> <p>その他の留意事項につきましては、弊社ウェブサイト「公募型医学教育プロジェクトへの助成」をご確認ください。</p> |
| プロジェクトの対象者 | 心筋症患者の診察または検査等を実施する可能性のある医療従事者（循環器医、放射線科医、超音波専門医、病理医、診療放射線技師、臨床検査技師等） |
| 本公募の背景 | <p>心筋症は、心筋に主な病変がある原発性心筋症と全身疾患の心病変である二次性心筋症に大別されます¹。二次性心筋症には、高血圧性心筋症、虚血性心筋症、心アミロイドーシス、心サルコイドーシス、ファブリー病、ミトコンドリア心筋症などが含まれますが、二次性心筋症はその原因によっては特異的な治療法が存在する可能性があるため、その鑑別は重要です¹。</p> <p>これらの鑑別のためには、必要な検査が実施できる施設や専門医が在籍する施設への紹介が時として必要となります。本公募では、原因不明の心筋症が疑われる患者の診断および治療に対して、専門施設への適切な紹介体制を構築するためのプロジェクトをサポートします。</p> |
| 関連するガイドライン等 | 心筋症診療ガイドライン（2018年改訂版）（日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン）JCS2018_tsutsui_kitaoka.pdf (j-circ.or.jp)急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）（日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン）急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）（j-circ.or.jp） |
| 現時点で日本において実行されている取り組み | 二次性心筋症の一つの病態である心アミロイドーシスについて、ビンダケルの処方においては、ビンダケル導入施設・医師認定制度が設けられています ² 。 |
| 本公募の助成額 | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト1件あたりの上限額:2,000,000円 <p>助成額は、外部有識者等による審査会にて決定されます。</p> |
| 締切日等 スケジュール | <ul style="list-style-type: none"> 公募開始日:2022年1月21日 Letter of Intent(1次申請)締切日:2022年3月7日 Letter of Intent 審査(1次審査):2022年4月 Letter of Intent 審査結果通知:2022年4月 <p>(1次審査を通過した場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> Full Proposal(最終申請)締切日:2022年5月 Full Proposal 審査(最終審査):2022年6月 Full Proposal 審査結果通知:2022年8月 <p>助成金はファイザー株式会社との契約締結後、支払い手続きが行われます。</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>申請方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2022年10月1日～2025年3月31日 申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。 www.cybergrants.com/pfizer/loi 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力してください。(最終ページ Appendix A 参照) <ul style="list-style-type: none"> Project Type は “Quality Improvement” を選択してください。 Primary Area of Interest は “TTR-Amyloidosis” を選択してください。 Competitive Grant Program Name は “2022 RD JP: Establish a System to Refer Patients with Suspected Cardiomyopathy” を選択してください。 <p>システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions”よりお問い合わせください。</p> <p>注意事項: 申請タイプ間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p> |
| <p>お問い合わせ</p> | <p>ファイザー株式会社MEG-J事務局 meg.japan@pfizer.com</p> <p>お問い合わせ際、件名に今回の公募タイトル「原因不明の心筋症が疑われる患者を専門医療機関に紹介する体制構築のための取り組み」をご記載ください。</p> |
| <p>助成契約</p> | <p>助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p> |
| <p>審査</p> | <p>本公募により受け付けた助成申請は、外部審査委員会によって最終的な助成の決定が下されます。</p> |
| <p>その他(注意事項等)</p> | <p>ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。</p> <p>レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。</p> <p>2022年11月末までに入金手続きを完了する必要があります。申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門・経理部門を含む)における手順を事前にご確認ください。</p> |

リファレンス

1. JCS 2018 Guideline on Diagnosis and Treatment of Cardiomyopathies : https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2018/08/JCS2018_tsutsui_kitaoka.pdf
2. 日本循環器学会. ビンダケル導入施設および医師認定の申請について : https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/08/20210823_Bindakeru.pdf

Appendix A

Letter of Intent Requirements

1次申請である Letter of Intent (LOI)では、以下項目を参照し、システムへ直接英語で入力をしてください。

| | |
|---|--|
| Goals and Objectives | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。またこの目的が申請団体（施設）の目的とどのように一致するのか説明してください。 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の全体的な目的を列挙してください。 この目的には、対象者に関する記載だけではなく、プロジェクトの実行によって得られるであろう成果についても記載してください。 |
| Assessment of Need for the Project | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）を記載してください。（定量的なデータの記載が望ましい）。 データの収集に使用されるソースと収集方法について記載してください。 現在のレベルと目標とするレベルとの間にギャップが存在することを判断するために、データを分析した方法を記載してください。 ギャップ分析がまだ実施されていない場合は、この情報を取得するためのプランも含めてください。 |
| Target Audience | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者（受講者）、及びその対象者の数を記載してください。 |
| Project Design and Methods | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。 プロジェクトに教育イベントが含まれている場合は、そのイベントのトピックと開催形式（セミナー、ワークショップなど）を記載してください。 |
| Innovation | <ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。 |
| Evaluation and Outcomes | <ul style="list-style-type: none"> プラクティス・ギャップが解消されたかどうかを、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 判定に使用するデータソース データの収集・分析方法 評価結果とプロジェクトの因果関係を判断する方法 プロジェクトの予想結果を“プロジェクト対象者（受講者）”の観点から定量化してください。 |

| | |
|-------------------------------------|--|
| Anticipated Project Timeline | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの開始日／終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。 |
| Additional Information | <ul style="list-style-type: none"> その他、上記以外の情報があれば、記載してください。 |
| Organization Detail | <ul style="list-style-type: none"> 申請団体(施設)についての詳細を記載してください。 プロジェクトメンバーを記載してください。 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。 |
| Budget Detail | <ul style="list-style-type: none"> LOI 申請(1 次申請)時では、総予算のみシステム内に入力してください。この予算額は必要に応じて、Full Proposal 申請(最終申請)時に修正することができます。 日本円で入力してください。 予算を見積もる際には、以下の点に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 弊社からの助成金は「個人費用(懇親会費等の飲食費用、一般参加者の参加費・交通宿泊費など)」や「プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、カメラ、家具、医療機器など)の購入」、「医薬品の購入」、「テキスト、教科書の購入」、「プロジェクトメンバーの人件費」には使用できません。 ○ 団体(施設)へのオーバーヘッド(間接費用)は、総予算の 28%を上限に計上することができます。ただし、この費用を含めることにより、本公募で定めたプロジェクト 1 件あたりの上限額を超えることはできません。 ○ 消費税込みで入力してください。 |